

【普通科】 2 年次 【選択】 科目 「地理 A」 授業のシラバス

1 概要

教科名	地理歴史	科目名	地理 A	単位数	2 (78)
科目の目標	①世界の地理的な諸課題について地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培う。				
教科書 (出版社)	高等学校新地理 A (帝国書院)	副教材 (出版社)	なし		
	地歴高等地図 現代社会とその歴史的背景 (帝国書院)				

2 学習の方法

(1) 予習について

地理という科目は地図に親しむことが大切です。日ごろから興味をもった地域、国を地図で見てほしいと思います。例えば、ニューヨークはアメリカのどの辺にあるのか、北海道の市の数はいくつあるのか数えてみるなど、自分が興味をもったことを地図帳で確かめてみる一それだけでよいのです。最近では有名な国の位置がよくわからないという生徒も見受けられますので、地図帳を眺めることは何よりも重要です。理想を言えば、授業の前に教科書を読んで参加する、というスタイルが推奨されますが、まずはしっかりと授業に臨む準備をしてください。教科書、ノート、地図帳は机の上に準備されていますか。基本中の基本ではありますが、それが一番必要な心がけです。

(2) 授業について

地歴公民科は授業で学習する情報量が他教科と比べると多い教科の一つといえます。したがって、復習との関係から必ずノートをつくる習慣を早期に身につけてください。小中学校までにノートをつくる習慣が身についている人でもなかなか大変ですが、ノートを取りながら授業を聴くようにしてください。もちろん、教員が黒板に書く事柄(板書)だけではなく、教員が話したことで自分が「重要だな」と思ったことは積極的にメモをとりましょう。ノートの取り方、書き方全般は自由としますが、年度初めの授業において、ノートのとりかたなどのガイダンスをする予定ですので、参考にしてください。

(3) 復習について

その日学習したことはその日のうちに復習するということでしょう。しかし、国語、数学、英語など予習、復習をしなければならぬ科目がたくさんあります。地歴公民科では、一週間ごとにまとめて復習することを提案しています。地理 A は 2 単位ですので、2 時間分について一週間に授業が進みます。それを週末にノートにまとめておくことで、地理の重要な考え方や言葉を理解して欲しいと考えています。このようにして、できるだけ復習に時間をかけて欲しい理由は、復習しなければ、知識はもとより思考力、判断力が身につかないからです。特に大学や公務員試験を受験しようとする人は、復習する習慣を身につけてほしいものです。

〈学習アドバイス〉

時間と手間をかけずにものごとをマスターする方法はありません。じっくりと時間の許す限り何度も復習に取り組んでください。できれば、繰り返し勉強するための基礎的な問題集を 1 冊購入するとよいでしょう。問題集がなくても先ほど述べたように、まとめをしっかりと作成し、復習を徹底するよう心がけてください。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① 関心・意欲・態度	現代社会の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求することの大切さを自覚しているか、また、授業や課題にしっかりと取り組んでいるかを評価します。
② 思考・判断・表現	現代世界の地理的諸事象から課題を見だし、それを地域性を踏まえて多面的・多角的に考察し、公正な判断をしているか、また、考察したり判断したりした過程を適切に表現できるかを評価します。
③ 資料活用・技能	身の回りにあるさまざまな地図をとりあげ、目的や用途に適した地図表現の工夫などについて理解し、地図作成などを通じて地理的技能を身につけているかを評価します。
④ 知識・理解	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身につけているかを評価します。

(2) 評価の方法 (以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する)

評価材料		定期考査・確認テスト		小テスト	ノート	休業中のレポートなど	考査	ワークシート	授業の取り組み
観 点	割合								
① 関心・意欲・態度	25%		ノート提出、授業の取り組み、夏季・冬季休業中などのレポートなど		○	○			○
② 思考・判断・表現	25%	○	考査における4者択一・記述問題、小テストなど	○			○		
③ 資料活用・技能	25%	○	考査における地図や資料の読みとり問題、夏季・冬季休業中などの調べ学習のレポート、ワークシートでの作業など			○	○	○	
④ 知識・理解	25%	○	教科書・ノート・教材の知識等に関わる問題など				○		

〈担当者からのメッセージ〉

伝えたいおよその事柄については、このシラバスにおいて記載しましたので、じっくりと読み返していただきたいと思います。授業での疑問点や成績のこと、単位認定などの不明な点は、いつでも担当の教員に質問してください。それぞれの質問について個別に対応したいと考えています。1 年間、一緒にがんばって勉強していきましょう。

【普通科】 2年次 【選択】 科目 「地理 A」 授業のシラバス

4 授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考查等
前期 4	第1部 世界の諸地域の姿と地球的課題 第1章 地球儀や地図からとらえる現代世界 1節 地球上の位置と国家	6	地上の現象と地球上の位置 経度の違いと時差 球面と平面の世界 国家の領域と国境 日本の領域と領土問題	①②③④ ①②③④	球の形をしている世界を平面としてあらわしている地図の種類と使用目的や特徴を理解し、自ら活用することができる。 時差のしくみを理解し、正しく計算をすることができる。	・ワークシート
5				①②④	日本が抱える国境問題について、歴史的背景を踏まえて理解できる。	
6	2節 グローバル化が進む世界	8	結びつきを強める現代世界 拡大する世界の貿易 世界を結ぶ交通 世界を1つに結ぶ通信 観光と人の移動のグローバル化	①②④ ①②④ ①②④	国々の結びつきがどのように変化してきたかについて、理解できる。 国際的な分業のしくみ、貿易や資本・人の移動の自由、経済的な格差の問題についての理解を深めることができる。 観光の国際化や外国人労働者の増加による課題について理解を深めることができる。	・小テスト ・ワークシート
7	2章 人間生活を取り巻く環境 1節 人々の生活と地形 2節 人々の生活と気候 3節 人々の生活と産業・文化	6	世界の大地形、山地・平野の地形、海岸地形、氷河地形、カルスト地形、乾燥地形 熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯・寒帯の気候と生活 世界の農業・工業・宗教・民族・言語	①②③④ ①②③④	人類と自然現象・地形との関わり、環境に適応した人間の諸活動について、理解できる。 人類と社会環境との関わり、環境に適応した人間の諸活動について、理解できる。	・前期中間考查 ・ノート提出 ・ワークシート
8	3章 世界の諸地域の生活・文化	8	ヨーロッパの生活・文化	①②③④ ①②③④	ヨーロッパの自然環境、歴史・文化、農業、工業の特色を、自然や社会的背景に注目しながら理解することができる。 統合に関わる様々な問題点、地域格差について理解できる。	・小テスト 夏季休業課題
9		4	アングロアメリカの生活・文化	①②③④	アングロアメリカの自然環境、移民歴史、多文化社会、農業、工業の特色を自然や社会的背景に注目しながら理解することができる。	
後期 10		6	ラテンアメリカ、オーストラリア、東南アジアの生活・文化	①②③④	各地域の自然環境、歴史、文化、農業、工業の特色を自然や社会的背景に注目しながら理解することができる。	前期期末考查 ・ノート提出 ・ワークシート
11		10	中国、韓国、ロシアの生活・文化	①②③④	各地域の自然環境、歴史、文化、生活について、理解することができる。	
		10	中央・西アジア、アフリカの生活と文化	①②③④	各地域の自然環境、歴史、文化、生活について、理解することができる。	・小テスト
12	4章 地球的課題と私たち	6	世界の資源・エネルギー問題 世界の環境問題	①②③④ ①②③④	資源やエネルギー問題について、国による対応の違いを理解することができる。 世界的な環境問題とその課題について考えることができる。	後期中間考查 ・ノート提出 ・ワークシート
1		4	世界の人口問題	①②③④ ①②③④	人口問題を理解し、解決策を考えることができる。 先進国と発展途上国での違いを理解できる。	冬期休業課題
2		6	世界の食糧問題	①②③④	食糧問題を理解し、解決策を考えることができる。	学年末考查 ・ノート提出
		4	世界の都市・居住問題	①②③④	都市問題を理解し、解決策を考えることができる。	
3		計 78				

※ 観点別評価①は関心・意欲態度、②は思考・判断・表現、③は資料活用技能、④は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。